

令和3年度 西武文理大学サービス経営学部 介護職員初任者研修概要

【研修機関情報】

法人情報	
法人名称	学校法人文理佐藤学園
所在地	埼玉県所沢市泉町 1806
代表者名	理事長 佐藤 英樹

研修機関情報	
事業所名称・所在地	西武文理大学(埼玉県狭山市柏原新田 311-1)
理念	建学の精神 「学識と技術の錬磨、報恩の精神、不撓不屈の精神」 学訓 「誠実、信頼、奉仕」 大学の教育目標 「豊かな人間性を持つ実践的で柔軟な職業人の育成」 教育理念 「ホスピタリティ」 これらの理念に合致する介護職員初任者研修を実施する。
研修施設、設備	西武文理大学は看護学部を有し実習室に所要の設備を備える。 西武文理大学キャンパスマップ(実習室の写真をご覧いただけます) http://www.bunri-c.ac.jp/univ/campuslife/campusmap.html
学則	<p>1 研修実施主体 法人名： 学校法人文理佐藤学園 代表者： 理事長 佐藤 英樹 研修実施主体： 西武文理大学サービス経営学部 同 所在地：〒350-1336 埼玉県狭山市柏原新田 311-1</p> <p>2 研修事業の名称 西武文理大学サービス経営学部 介護職員初任者研修</p> <p>3 研修の種類 介護職員初任者研修</p> <p>4 指定番号 西福第 3418 号</p> <p>5 研修課程 通信制(実習なし)</p> <p>6 講義・演習室名および住所 講義室 西武文理大学 8号館(実習室Ⅱ) 演習室 西武文理大学 8号館(実習室Ⅱ) 住 所 埼玉県狭山市柏原新田 311-1</p> <p>7 演習及び実習施設一覧 演習施設： 西武文理大学 実習施設： 別紙「実習先一覧表」の通り</p> <p>8 講師一覧 別紙「講師一覧表」の通り</p> <p>9 使用テキスト一覧 中央法規出版 介護職員初任者研修テキスト(2013年4月刊行 改訂版) 第1巻 介護の仕事の基礎 第2巻 自立に向けた介護の実際</p> <p>10 受講資格 本学サービス経営学部 2、3、4年生に在籍し、介護技術の習得に熱意のある者。</p> <p>11 広報の方法 学生に対する説明を実施し、履修案内を行う。</p> <p>12 情報開示の方法 西武文理大学ホームページに研修の情報公開ページを設ける。 西武文理大学ホームページ http://www.bunri-c.ac.jp/univ 内の 研究・教育活動 教育プログラム開発 令和3年度 介護職員初任者研修</p>

	<p>13 受講手続き方法</p> <p>(1) 本学サービス経営学部学生を対象とする。一般者の募集は行わない。受講を希望する学生は研修内容を取扱う授業を全て履修登録しなければならない。</p> <p>(2) 希望学生多数の場合、教員の面接等により志望動機等を確認し24人を選考する。</p> <p>14 受講料及び支払い方法 受講料は徴収しない。テキスト代、実習費の実費を徴収する。</p> <p>15 解約条件及び返金の有無 履修辞退の意思を教員に伝える。テキスト代の返金を行わない。</p> <p>16 受講者の個人情報の取扱い 「西武文理大学における個人情報の取扱いについて」の規定に従う。</p> <p>17 研修終了の認定方法</p> <p>(1) 出欠の確認方法 各教科の開始前に出欠確認を行う。</p> <p>(2) 成績の評定方法 試験の成績と授業の出席状況、課題の取組などを到達目標に照らし総合的に評価する。</p> <p>(3) 修了の認定方法 修了の認定は、サービス経営学部教授会の議を経て学長が決定する。</p> <p>(4) 修了証明書 修了が認定された者に対しては、所定の修了証明書を交付する。</p> <p>18 補講の方法及び取扱い やむを得ず欠席した場合は補講を行う。</p> <p>19 受講中の事故等についての対応 事故等が発生した場合は速やかに苦情・相談担当者(西武文理大学事務局)へ連絡しなければならない。事務局、教育サービス委員会、サービス経営学部教授会において対応を検討・実施する。</p> <p>20 研修担当者名及び連絡先 担当者: 西武文理大学サービス経営学部 教授 影山優子 連絡先: 04-2954-7575(代)</p> <p>21 苦情相談担当者及び連絡先 担当者: 西武文理大学教学課(若山伸幸) 連絡先: 04-2954-7575(代)</p> <p>22 研修責任者名及びその役職 責任者: 西武文理大学サービス経営学部 学部長 高瀬 浩 連絡先: 04-2954-7575(代)</p> <p>23 一部委託先がある場合は委託先の名称 該当なし</p> <p>24 その他特記事項 特記事項なし</p>
--	--

【研修事業情報】

研修の概要	
対象	西武文理大学サービス経営学部 2 年次以上の学生
研修のスケジュール	令和3年4月14日～令和4年2月10日 (下表 1 に示す)
定員と指導者数	(受講者定員)24 名 / (指導者数)講師 22 名
研修受講までの流れ	1.受講資料の受領及び動画による説明を視聴する。 2.受講を希望する学生は研修内容を取扱う授業を全て履修登録しなければならない。 3.希望学生多数の場合、教員の面接等により志望動機等を確認し 24 人を選考する。
費用	研修受講費用は徴収しない。 但し実習費、テキスト代、交通費は受講生の実費負担。
留意事項・特徴・受講者へのメッセージ	一年間の授業内カリキュラムの中で時間をかけて養成します。介護業界に関心がある人はもちろんのこと、広く対人サービス業に関心がある学生の受講も歓迎します。
課程編成責任者	
影山優子	
研修カリキュラム	
科目別シラバス	科目別シラバスを以下に掲載
科目別時間数	下表 2 に示す
科目別担当教官名	下表 2 に示す
科目別特徴	科目別シラバスに記載
修了評価の方法	本学独自の筆記試験(合格点は 76 点以上)により評価する。
評価者	介護技術度合い評価担当者 4 名を置く。(外部講師 2 日間、各 2 名)
再履修等の基準	修了の基準に満たない場合担当講師の補講等を行った上で再試験を行う

【講師情報】(名前・略歴・現職・資格・担当科目)

(令和3年2月1日現在)

講師名	略歴(※)	現職	資格(※)	担当科目
影山優子	教員として 2年以上従事	西武文理大学	教員	職務の理解 介護の基本 認知症の理解 快適な住居環と介護 振り返り
藤井賢一郎	教員として 2年以上従事	上智大学	教員	介護における尊厳の保 持・自立支援 介護・福祉サービスの理 解と医療の連携 老化の理解 障害の理解
瀬沼文彰	教員として 2年以上従事	西武文理大学	教員	介護に関するからだのし くみの基礎的理解
関澤孝文	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	介護・福祉サービスの理 解と医療との連携
瀬沼光太	介護・看護業 務に3年以上 従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士 看護師	介護におけるコミュニケ ーション技術
福島 裕	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム		介護・福祉サービスの理 解と医療との連携
清水昌美	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	障害の理解
中村綾里	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	整容に関連したところと からだのしくみと自立に 向けた介護
松本泰季	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	整容に関連したところと からだのしくみと自立に 向けた介護
師 真悟	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	移動・移乗に関連したこ ころとからだのしくみと自 立に向けた介護 死にゆく人に関連したこ ころとからだのしくみと終 末期介護 介護課程の基礎的理解 総合生活支援技術演習
井上和磨	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	移動・移乗に関連したこ ころとからだのしくみと自 立に向けた介護
上原まり	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	移動・移乗に関連したこ ころとからだのしくみと自 立に向けた介護 生活と家事

吉野愛可	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	移動・移乗に関連したこ ころとからだのしくみと自立 に向けた介護
西村明彦	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	食事に関連したところと からだのしくみと自立に に向けた介護 介護課程の基礎的理解 総合生活支援技術演習
図師みどり	管理栄養士 よび調理員と して従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	管理栄養士	食事に関連したところと からだのしくみと自立に に向けた介護 0
石川智将	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	入浴・清潔保持に関連し たところとからだのしくみ と自立に向けた介護 総合生活支援技術演習
櫻田康平	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	入浴・清潔保持に関連し たところとからだのしくみ と自立に向けた介護
田村光世	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	排泄に関連したところと からだのしくみと自立に に向けた介護 総合生活支援技術演習
芹澤良亮	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	排泄に関連したところと からだのしくみと自立に に向けた介護
今 鷹志	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	睡眠に関連したところと からだのしくみと自立に に向けた介護
砂 久美子	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	介護福祉士	睡眠に関連したところと からだのしくみと自立に に向けた介護
飯島絵里	介護業務に 3年以上従事	特別養護老人 ホーム ひのでホーム	社会福祉士	介護課程の基礎的理解 死にゆく人に関連したこ ころとからだのしくみと終 末期介護

(※)「略歴」の従事年数は講師要件を充当していることのみ表し、全勤務年数としては示しておりません。「現職」は勤務先を表し、役職等は示しておりません。「資格」は科目担当要件資格のみ掲出。

講師派遣協力機関

名称	所在地	事業概要 協力機関のページ(外部リンク)	担当者
社会福祉法人芳洋会 特別養護老人ホーム ひのでホーム	東京都西多摩郡 日の出町平井 3076	https://www.h-sunrise.com/hinode-home/	関澤孝文

【実績情報】

過去の研修実施回数 および参加延べ人数 (事業所の実績)	平成 16 年度 実施 1 回、参加延べ人数 29 人
	平成 17 年度 実施 1 回、参加延べ人数 18 人
	平成 18 年度 実施 1 回、参加延べ人数 17 人
	平成 25 年度 実施 1 回、参加延べ人数 19 人
	平成 26 年度 実施 1 回、参加延べ人数 24 人
	平成 27 年度 実施 1 回、参加延べ人数 23 人
	平成 28 年度 実施 1 回、参加延べ人数 23 人
	平成 29 年度 実施 1 回、参加延べ人数 18 人
	平成 30 年度 実施 1 回、参加延べ人数 20 人
	平成 31(令和1)年度 実施 1 回、参加延べ人数 11 人
	令和 2 年度 廃止 ※コロナウィルス感染拡大に因る

【連絡先等】

申込先	西武文理大学サービス経営学部事務局
苦情対応者名 (法人・事業所共通)	学校法人文理佐藤学園 西武文理大学教学課長 若山伸幸
連絡先	Tel:04-2954-7575(代表)

【表 1】研修のスケジュール（期間、日程、時間数）

日程	時間	科目名
令和3年4月14日(水)	15:20~18:30	職務の理解
令和3年4月21日(水)	15:20~18:30	職務の理解
令和3年4月28日(水)	15:20~18:30	介護における尊厳の保持・自立支援
令和3年5月12日(水)	15:20~18:30	介護における尊厳の保持・自立支援
令和3年5月19日(水)	15:20~18:30	介護の基本
令和3年5月26日(水)	15:20~18:30	介護福祉サービスの理解と医療の連携
令和3年6月2日(水)	15:20~18:30	介護福祉サービスの理解と医療の連携
令和3年6月9日(水)	15:20~18:30	介護におけるコミュニケーション技術
令和3年6月16日(水)	15:20~18:30	老化の理解
令和3年6月23日(水)	15:20~18:30	認知症の理解
令和3年6月30日(水)	15:20~18:30	認知症の理解
令和3年7月7日(水)	15:20~18:30	障害の理解
令和3年7月14日(水)	15:20~18:30	介護の基本的な考え方
令和3年7月21日(水)	15:20~18:30	介護に関するからだのしくみの基礎的理解
令和3年7月28日(水)	15:20~18:30	介護に関するところのしくみの基礎的理解
令和3年9月29日(水)	15:20~18:30	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年10月6日(水)	15:20~18:30	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年10月13日(水)	15:20~18:30	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年10月20日(水)	15:20~18:30	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年10月27日(水)	15:20~18:30	生活と家事
令和3年11月3日(水)	15:20~18:30	生活と家事
令和3年11月10日(水)	15:20~18:30	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年11月17日(水)	15:20~18:30	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年11月24日(水)	15:20~18:30	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年12月1日(水)	15:20~18:30	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年12月8日(水)	15:20~18:30	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年12月15日(水)	15:20~18:30	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和3年12月22日(水)	15:20~20:00	睡眠に関連したところとからだの仕組みと自立に向けた介護
令和4年1月12日(水)	15:20~18:30	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
令和4年1月19日(水)	15:20~18:30	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
補講 令和4年1月7日(金)	9:20~12:40	快適な住居環境と介護
	13:30~15:00	死にゆく人に関連したからだのしくみと終末期介護
令和4年2月7日(月)	9:20~12:40	介護過程の基礎的理解
令和4年2月8日(火)	9:20~16:50	総合生活支援技術演習
令和4年2月9日(水)	9:20~16:50	総合生活支援技術演習
令和4年2月10日(木)	9:20~15:00	ふりかえり
	15:20~18:30	修了評価

【表2】科目・カリキュラム一覧

別紙2-1 科目・カリキュラム一覧(見学等実習なし)

科目・カリキュラム番号	科目名	カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間(25時間以上)	合計履修時間数	履修日	講師	備考	
1	職務の理解		6	0	6	0	26	6	令和3年4月14日 4月21日	影山優子		
2	介護における尊厳の保持・自立支援		9	7.5	6	3		9	令和3年4月28日 5月12日	藤井賢一郎		
3	介護の基本		6	3	3	3		6	令和3年5月19日	影山優子		
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携		9	7.5	6	3		9	令和3年5月26日 6月2日	藤井賢一郎		
5	介護におけるコミュニケーション技術		6	3	3	3		6	令和3年6月9日	瀬沼文彰		
6	老化の理解		6	3	3	3		6	令和3年6月16日	藤井賢一郎		
7	認知症の理解		6	3	6	0		6	令和3年6月23日 6月30日	影山優子		
8	障害の理解		3	1.5	3	0		3	令和3年7月7日	藤井賢一郎		
9	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	2	0		2	令和3年7月14日	関澤孝文		
10		介護に関するところのしくみの基礎的理解	5	5	3	2		5	令和3年7月28日	影山優子		
11		介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	3	2		5	令和3年7月21日	瀬沼光太		
12	生活支援技術の講義・演習(このところからのだのしくみと生活支援技術のうち半分程度25時間)は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6	0		3	6	令和3年10月27日 11月3日	福島裕 清水昌美	
13		快適な住居環境と介護	3	0	3	0		1	3	令和4年1月7日	影山優子	
14		整容に関連したところからのだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6	0		3	6	令和3年11月24日 12月1日	中村綾里 松本泰季	
15		移動・移乗に関連したところからのだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12	0		6	12	令和3年9月29日 10月6日 10月13日 10月20日	師 真悟 井上和磨 上原まり 吉野愛可	
16		食事に関連したところからのだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6	0		3	6	令和3年11月10日 11月17日	西村明彦 図師みどり	
17		入浴・清潔保持に関連したところからのだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6	0		3	6	令和3年12月8日 12月15日	石川智将 櫻田康平	
18		排泄に関連したところからのだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6	0		3	6	令和4年1月12日 1月19日	田村光世 芹澤良亮	
19		睡眠に関連したところからのだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5	0		3	4.5	令和3年12月22日	今 鷹志 砂 久美子	
20		死にゆく人に関連したところからのだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5	0		1	1.5	令和4年1月7日	師 真悟 飯島絵里	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		0	2	令和4年2月7日	西村明彦	
22	総合生活支援技術演習		10	0	10	0		10	令和4年2月8日 2月9日	石川智将 師 真悟 西村明彦 田村光世		
23	振り返り		4	0	4	0		4	令和4年2月10日	影山優子		
	修了評価		1	0	1	0	1	令和4年2月10日	影山優子			
	合計		131	40.5	112	19	26	131				

介護職員初任者研修実施科目シラバス

配当年次・単位・授業形態	開講学部	サ経	選択 2単位		講義・演習	
	2年次	開講期 前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	基礎ケア学 (Basic Care)					
担当教員名	影山優子					(◎は科目責任者)
<p>【授業の概要】</p> <p>「介護職員初任者研修」の資格取得に必要な介護に関する基礎知識、技術、考え方を学びます。この資格を取得することで、高齢者や障害者など、支援が必要な人の暮らしの基礎的なサポートができるようになります。</p>						
<p>【科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）】</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、健康福祉マネジメント学科の専門への関心に従って系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置付けられます。高齢者介護や障害者支援を取り巻く諸課題について実践と理論の双方から体系的に学ぶなかで、他者に対するケアとは何か、人間の尊厳とは何かについて、考えを深めます。講義と演習を交互に行います。</p>						
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、基本的な介護を実践するために最低限必要な知識・技術について説明することができる 2、相手の特性に応じて、自立支援を基盤とした介護を提供することができる 3、相手の尊厳を大切にされた考え方ができる 4、自分が希望している職業（進路）における介護の技術や知識の活かすことができる 						
回	授業計画	授業外学習 (事前学修・事後学修)			担当者	
1	オリエンテーション 介護保険による居宅サービス	事前学修 (90分)：指定教科書第1章第1節の予習 事後学修 (90分)：「介護職員初任者研修の資格を目指す理由」をレポートにまとめる			影山優子	
2	介護サービスを提供する現場の実際	事前学修 (90分)：指定教科書第1章第2節の予習 事後学修 (90分)：教科書付属DVDを視聴し「介護職の職務」をまとめる			影山優子	
3	人権と尊厳の保持・ノーマライゼーション・虐待防止、身体拘束禁止	事前学修 (90分)：指定教科書第2章第1節の予習 事後学修 (90分)：介護職に求められる「権利擁護の視点」についてまとめる			影山優子 ゲスト講師	
4	ICFとQOL	事前学修 (90分)：指定教科書第2章第2節の予習 事後学修 (90分)：利用者の「自立した生活」を支えるためには、介護職としてどのような「援助の視点」をもてばよいかまとめる			影山優子 ゲスト講師	
5	介護職の役割、専門性と多職種連携	事前学修 (90分)：指定教科書第3章第1節、第2節の予習 事後学修 (90分)：施設と在宅の違いについて具体的なサービスを挙げながらまとめる			影山優子 ゲスト講師	
6	介護保険制度	事前学修 (90分)：指定教科書第4章第1節の予習 事後学修 (90分)：介護保険で保険給付に要する手続きについてその流れをまとめる			影山優子 ゲスト講師	

7	障害者自立支援制度	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 4 章 3 節の予習 事後学修 (90 分) : 障害者総合支援法で提供される自立支援給付のうち介護給付費が支給されるサービスについてまとめる	影山優子 ゲスト講師
8	介護におけるコミュニケーション	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 5 章第 1 節の予習 事後学修 (90 分) : 「対人援助関係におけるコミュニケーションの意義」についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
9	老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 6 第 1 節の予習 事後学修 (90 分) : 「身体的老化現象と日常生活への影響」についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
10	認知症を取り巻く環境	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 7 章第 1 節の予習 事後学修 (90 分) : 介護職として認知症の人に関わる際の基本的なポイントについてまとめる	影山優子
11	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 7 章第 3 節の予習 事後学修 (90 分) : アルツハイマー型認知症の代表的な症状や特徴についてまとめる	影山優子
12	障害の基礎的理解	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 8 章第 1 節の予習 事後学修 (90 分) : ICHD と比較した ICF の特徴についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
13	理論に基づく介護	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 1 章第 1 節の予習 事後学修 (90 分) : 近年の介護に関する見方・考え方の変化についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
14	介護に関するからだの仕組みの基礎的理解	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 1 章第 2 節の予習 事後学修 (90 分) : ボディメカニクスの原理についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
15	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 1 章第 3 節の予習 事後学修 (90 分) : 要介護状態になることによる高齢者の QOL の特徴や変化についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとしてコメント票 (10%)、課題・レポート (40%)、演習への積極的な参加と態度 (50%) により総合的に評価します。	
履修上の留意点		介護職員初任者研修の資格取得のための科目です。事前登録者以外は履修できません。資格取得に必要な学習時間が定められているため、欠席した場合は理由を問わず補講またはだいたいレポートを実施します。各単元の講師要件に適合したゲスト講師を招聘します。	
ディプロマポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの (1) (2) (3) (4) と関連しています。特に知識・理解の修得は、基本的な介護を実践するために重要です。	

教科書	介護職員初任者研修テキスト 1 巻介護の仕事の基礎（第 3 版）中央法規、2020 年 介護職員初任者研修テキスト 2 巻自立に向けた介護の実際（第 2 版）中央法規 2020 年
参考書・参考資料	随時提示・配布します
学生との連絡方法	メール、AAA で連絡を取ります
実務経験科目	

配当年次・単位・授業形態	開講学部	サ経	選択 2単位		講義・演習	
	2年次	開講期 前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	生活支援サービス論 (Life Support Business)					
担当教員名	影山優子					(◎は科目責任者)
<p>【授業の概要】</p> <p>「介護職員初任者研修」の資格取得に必要な介護に関する基礎知識、技術、考え方を学びます。この資格を取得することで、高齢者や障害者など、支援が必要な人の暮らしの基礎的なサポートができるようになります。講義と演習を交互に行います。</p>						
<p>【科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）】</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、健康福祉マネジメント学科の専門への関心に従って系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置付けられます。高齢者介護や障害者支援を取り巻く諸課題について実践と理論の双方から体系的に学ぶなかで、他者に対するケアとは何か、人間の尊厳とは何かについて、考えを深めます。</p>						
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、基本的な介護を実践するために最低限必要な知識・技術について説明することができる 2、相手の特性に応じて、自立支援を基盤とした介護を提供することができる 3、相手の尊厳を大切に考えた考え方ができる 4、自分が希望している職業（進路）における介護の技術や知識の活かすことができる 						
回	授業計画	授業外学習 (事前学修・事後学修)		担当者		
1	介護保険による施設サービス	事前学修 (90分)：指定教科書第1章第1節の予習 事後学修 (90分)：「自分の市町村にある施設サービスの数を調べる」		影山優子		
2	介護過程とチームアプローチ	事前学修 (90分)：指定教科書第1章第2節の予習 事後学修 (90分)：指定教科書p37「事例13」について検討する		影山優子		
3	自立支援	事前学修 (90分)：指定教科書第2章第2節の予習 事後学修 (90分)：残存能力の活用はなぜ重要なのかについてまとめる		影山優子 ゲスト講師		
4	介護予防	事前学修 (90分)：指定教科書第2章第2節の予習 事後学修 (90分)：介護予防とはどのような意味を持つ取り組みなのかについてまとめる		影山優子 ゲスト講師		
5	介護職の安全	事前学修 (90分) 指定教科書第3章第4節の予習 事後学修 (90分) 感染症の予防と対策についてまとめる		影山優子 ゲスト講師		
6	医療との連携とリハビリテーション	事前学修 (90分)：指定教科書第4章第1節第2節の予習 事後学修 (90分)：喀痰吸引と経管栄養の位置づけをまとめる		影山優子 ゲスト講師		
7	個人の人権を守る制度の概要	事前学修 (90分)：指定教科書第4章第1節の予習 事後学修 (90分)：日常生活自立支援制度の対象者と援助内容についてまとめる		影山優子 ゲスト講師		

8	介護におけるチームのコミュニケーション	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 5 章 2 節の予習 事後学修 (90 分) : 記録を書く時の留意点についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
9	高齢者と健康	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 6 章 2 節の予習 事後学修 (90 分) : パーキンソン病の代表的な症状についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
10	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 7 第 2 節の予習 事後学修 (90 分) : 認知症の人に対する施設での環境づくりのポイントについてまとめる	影山優子
11	家族への支援	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 7 章 4 節の予習 事後学修 (90 分) : 家族の介護負担を軽減する方法についてまとめる	影山優子
12	障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 8 章 2 節の予習 事後学修 (90 分) : 精神・知的・身体・発達障害、難病についてその特徴をまとめる	影山優子
13	法的根拠に基づく介護	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 1 章 2 節の予習 事後学修 (90 分) : 介護福祉士が誕生した背景について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
14	生命の維持・恒常のしくみ	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 1 章 3 節の予習 事後学修 (90 分) : バイタルサインを測定する際に注意することをまとめる	影山優子 ゲスト講師
15	老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因	事前学修 (90 分) : 指定教科書第 1 章 3 節の予習 事後学修 (90 分) : 適応機種の種類についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
成績評価の方法と基準	学習意欲の把握を行うものとしてコメント票 (10%)、課題・レポート (40%)、演習への積極的な参加と態度 (50%) により総合的に評価します。		
履修上の留意点	介護職員初任者研修の資格取得のための科目です。事前登録者以外は履修できません。資格取得に必要な学習時間が定められているため、欠席した場合は理由を問わず補講またはだいたいレポートを実施します。各単元の講師要件に適合したゲスト講師を招聘します。		
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの (1) (2) (3) (4) と関連しています。特に知識・理解の修得は、基本的な介護を実践するために重要です。		
教科書	介護職員初任者研修テキスト 1 巻介護の仕事の基礎 (第 3 版) 中央法規、2020 年 介護職員初任者研修テキスト 2 巻自立に向けた介護の実践 (第 2 版) 中央法規 2020 年		
参考書・参考資料	随時提示・配布します		
学生との連絡方法	メール、AAA で連絡を取ります		
実務経験科目			

配当年次・単位・授業形態	開講学部	サ経	選択 2単位		講義・演習	
	2年次	開講期 後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	介護技術・援助論 (Care Technique and Support)					
担当教員名	影山優子					(◎は科目責任者)
<p>【授業の概要】 「介護職員初任者研修」の資格取得に必要な介護に関する基礎知識、技術、考え方を学びます。この資格を取得することで、高齢者や障害者など、支援が必要な人の暮らしの基礎的なサポートができるようになります。</p>						
<p>【科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）】 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、健康福祉マネジメント学科の専門への関心に従って系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置付けられます。高齢者介護や障害者支援を取り巻く諸課題について実践と理論の双方から体系的に学ぶなかで、他者に対するケアとは何か、人間の尊厳とは何かについて、考えを深めます。講義と演習を交互に行います。</p>						
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 自立に向けた介護について必要なポイントを説明することができる 2、 利用者本人にとって適切な支援技術は何かを述べるすることができる 3、 利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を踏まえて配慮できる 4、 支援が必要な相手に対して具体的な提案を行うことができる 						
回	授業計画	授業外学習 (事前学修・事後学修)		担当者		
1	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	事前学修(90分):指定教科書第2章第4節「移動・移乗に関する基礎知識」の予習 事後学修(90分):移動・移乗に関する基礎知識の復習		影山優子 ゲスト講師		
2	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第4節「移動・移乗に関する福祉用具とその活用」の予習 事後学修(90分):移動・移乗に関する福祉用具とその活用の復習		影山優子 ゲスト講師		
3	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護③	事前学修(90分):定教科書第2章第4節「利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援」の予習 事後学修(90分):一連の体位変換技術をふり返り、安全で安楽な体位変換のポイントをまとめる		影山優子 ゲスト講師		
4	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護④実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第4節「利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援」の予習 事後学修(90分):褥瘡の予防に対する対策について調べまとめる		影山優子 ゲスト講師		
5	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護⑤	事前学修(90分)指定教科書第2章第4節「利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援」の予習 事後学修(90分):歩行介助について技術をふり返り、安全な介助についてポイントをまとめる(90分)		影山優子 ゲスト講師		

6	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護⑥実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第4節「利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援」の予習 事後学修(90分):ベッド・車いす間の移乗の介助の技術をふり返り、安全な介助についてポイントをまとめる	影山優子 ゲスト講師
7	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護⑦	事前学修(90分):指定教科書第2章第4節「利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援」の予習 事後学修(90分):移動移乗を阻害する要因の理解とその支援方法について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
8	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護⑧実技演習	事前学修(90分):指定教科書のDVDを視聴し、介助者にとって負担の少ない移動移乗の支援についてふり返る 事後学修(90分):移動と社会参加の留意点と支援について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
9	生活と家事①	事前学修(90分):指定教科書第2章第1節「生活と家事の理解」の予習 事後学修(90分):生活援助に該当する家事の具体的内容について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
10	生活と家事②実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第1節「家事援助に関する基礎的知識と生活支援」の予習 事後学修(90分):教科書掲載事例について検討しまとめる	影山優子 ゲスト講師
11	生活と家事③	事前学修(90分):指定教科書第2章第1節「家事援助に関する基礎的知識と生活支援」の予習 事後学修(90分):家事援助は利用者にとってどのような意味があるのか、についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
12	生活と家事④実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第1節「家事援助に関する基礎的知識と生活支援」の予習 事後学修(90分):調理における介護職の留意点についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
13	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	事前学修(90分):指定教科書第2章第5節「食事に関する基礎知識」の予習 事後学修(90分):「食事バランスガイド」をもとに、一日に必要な食事量と内容を調べる	影山優子 ゲスト講師

14	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第5節「食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法」の予習 事後学修(90分):食事介助の手順をふり返り、安全な食事介助のポイントをまとめる	影山優子 ゲスト講師
15	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護③	事前学修(90分):指定教科書第2章第5節「楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法」の予習 事後学修(90分):疾患別に配慮すべき食事内容の留意点について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
16	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護④実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第5節「食事と社会参加の留意点と支援」の予習 事後学修(90分):配食サービスの種類や現状について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
17	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	事前学修(90分):指定教科書第2章第3節「整容の支援技術」の予習 事後学修(90分):利用者の力を引き出す整容の支援について事例をもとにポイントをまとめる	影山優子 ゲスト講師
18	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第3節「整容に関する基礎知識」の予習 事後学修(90分):身支度を整える意義についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
19	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護③	事前学修(90分):指定教科書第2章第3節「整容の支援技術」の予習 事後学修(90分):清拭の手順について振り返りポイントをまとめる	影山優子 ゲスト講師
20	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護④実技演習	事前学修(90分):指定教科書第2章第3節「整容の支援技術」の予習 事後学修(90分):高齢者にとつての化粧の効用について考察する	影山優子 ゲスト講師
21	入浴に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	事前学習(90分):指定教科書第2章第6節「入浴・清潔保持に関連する基礎知識」の予習 事後学修(90分):入浴の効果について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
22	入浴に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習	事前学習(90分):指定教科書第2章第6節「入浴・清潔保持に関連する用具の活用」の予習 事後学修(90分):入浴中の事故を防止するためのポイントについて調べまとめる	影山優子 ゲスト講師

23	入浴に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護③	事前学習 (90分) : 指定教科書第2章第6節「入浴・清潔保持に関連する用具の活用」の予習 事後学修 (90分) : 手浴・足浴の介助法について振り返り、ポイントをまとめる	影山優子 ゲスト講師
24	入浴に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護④実技演習	事前学習 (90分) : 指定教科書第2章第6節「楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法」の予習 事後学修 (90分) : 身体機能の低下が入浴に及ぼす影響についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
25	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	事前学修 (90分) : 指定教科書第2章第8節「睡眠に関する基礎知識」の予習 事後学修 (90分) : レム睡眠とノンレム睡眠の特徴について調べてまとめる	影山優子 ゲスト講師
26	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②実技演習	事前学修 (90分) : 指定教科書第2章第8節「睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法」の予習 事後学修 (90分) : ベッドメイキングの手順をふり返り、ひとりで行えるよう練習する	影山優子 ゲスト講師
27	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	事前学習 (90分) : 指定教科書第2章第7節「排泄に関連する基礎知識」の予習 事後学修 (90分) : 排泄行為一覧表を読み、排泄介助の手順を考える	影山優子 ゲスト講師
28	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた支援②実技演習	事前学習 (90分) : 指定教科書第2章第7節「排泄環境の整備と関連する用具の活用方法」の予習 事後学修 (90分) : 排泄用具の特徴を調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
29	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた支援③	事前学習 (90分) : 指定教科書第2章第7節「爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法」の予習 事後学修 (90分) : 身体及び精神機能の低下が排泄に及ぼす影響について調べまとめる	影山優子 ゲスト講師
30	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた支援④実技演習	事前学習 (90分) : 指定教科書第2章第7節「爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法」の予習 事後学修 (90分) おむつの使用に関する条件と留意点についてまとめる	影山優子 ゲスト講師
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとしてコメント票 (10%)、課題・レポート (40%)、演習への積極的な参加と態度 (50%) により総合的に評価します。	

履修上の留意点	介護職員初任者研修の資格取得のための科目です。事前登録者以外は履修できません。資格取得に必要な学習時間が定められているため、欠席した場合は理由を問わず補講またはだいたいレポートを実施します。各単元の講師要件に適合したゲスト講師を招聘します。毎回介護実技の演習を行いますので、動きやすい服装（ジャージ上下など）と室内履き（紐のついたスニーカーなど）を着用して参加してください。
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）（2）（3）（4）と関連しています。特に知識・理解の修得は、基本的な介護を実践するために重要です。
教科書	介護職員初任者研修テキスト 2 巻自立に向けた介護の実際（第 2 版） 中央法規 2020 年
参考書・参考資料	随時提示・配布します
学生との連絡方法	メール、AAA で連絡を取ります
実務経験科目	

配当年次・単位・授業形態	開講学部	サ経	選択 2単位		講義・演習	
	2年次	開講期 集中	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	介護演習 (Care Exercise)					
担当教員名	川口真実					(◎は科目責任者)
<p>【授業の概要】</p> <p>「介護職員初任者研修」の資格取得に必要な介護に関する基礎知識、技術、考え方を学びます。この資格を取得することで、高齢者や障害者など、支援が必要な人の暮らしの基礎的なサポートができるようになります。</p>						
<p>【科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）】</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、健康福祉マネジメント学科の専門への関心に従って系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置付けられます。高齢者介護や障害者支援を取り巻く諸課題について実践と理論の双方から体系的に学ぶなかで、他者に対するケアとは何か、人間の尊厳とは何かについて、考えを深めます。講義と演習を交互に行います。</p>						
<p>【到達目標】</p> <p>1、介護に必要な情報を収集・整理したうえで説明することができる</p> <p>2、計画に基づいた介護を実践することができる</p> <p>3、利用者や家族の思いに配慮することができる</p> <p>4、介護や支援が必要な相手に対してサービスの視点から問題発見することができる</p>						
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者		
1	介護過程の目的と意義・展開	事前学修(90分): 指定教科書第3章第1節「介護過程の目的・意義・展開」の予習 事後学修(90分): 介護過程が必要な理由について考えをまとめる		川口真実 ゲスト講師		
2	介護過程とチームアプローチ	事前学修(90分): 指定教科書第3章第1節「介護過程とチームアプローチ」の予習 事後学修(90分): 介護におけるチームの必要性についてまとめる		川口真実 ゲスト講師		
3	総合生活支援技術演習①	事前学修(90分): 指定教科書第3章第2節「総合生活支援技術演習」の予習 事後学修(90分): 生活を支援する流れについてまとめる		川口真実 ゲスト講師		
4	総合生活支援技術演習②	事前学修(90分): 配布事例について自分の考えをまとめる 事後学修(90分): 事例についての手順を整理する		川口真実 ゲスト講師		
5	総合生活支援技術演習③	事前学修(90分): 配布事例について自分の考えをまとめる 事後学修(90分): 事例についての手順を整理する		川口真実 ゲスト講師		

6	総合生活支援技術演習④	事前学修 (90 分) : 配布事例について自分の考えをまとめる 事後学修 (90 分) : 事例についての手順を整理する	川口真実 ゲスト講師
7	総合生活支援技術演習⑤	事前学修 : 配布事例について自分の考えをまとめる (90 分) 事後学修 (90 分) : 事例についての手順を整理する	川口真実 ゲスト講師
8	総合生活支援技術演習⑥	事前学修 (90 分) : 配布事例について自分の考えをまとめる 事後学修 (90 分) : 事例についての手順を整理する	川口真実 ゲスト講師
9	総合生活支援技術演習⑦	事前学修 (90 分) : 配布事例について自分の考えをまとめる 事後学修 (90 分) : 事例についての手順を整理する	川口真実 ゲスト講師
10	総合生活支援技術演習⑧	事前学修 (90 分) : 配布事例について自分の考えをまとめる 事後学修 (90 分) : 事例についての手順を整理する	川口真実 ゲスト講師
11	ふりかえり①	事前学修 (90 分) : 研修を受講する前に「介護」という言葉からどのようなイメージを持っていたかについてまとめる 事後学修 (90 分) : 研修を修了した現在「介護」のイメージがどのように変わったかについてまとめる	川口真実
12	ふりかえり②	事前学修 (90 分) 研修を受講する前「介護サービスの利用者」に対してどのようなイメージを持っていたかについてまとめる 事後学修 (90 分) : 研修を修了した現在「介護サービスの利用者」に対してのイメージがどのように変わったかについてまとめる	川口真実
13	ふりかえり③	事前学修 (90 分) : 研修を修了した現在、興味や関心を持った介護職が働く場についてまとめる 事後学修 (90 分) : 研修全体を振り返って介護の魅力とは何かについてまとめる	川口真実
14	修了評価①	事前学修 (90 分) : 指定教科書を用いた研修全体を通じた知識の確認 事後学修 (90 分) : 採点結果から間違えた設問について調べまとめる	川口真実

15	修了評価②	事前学修（90分）：指定教科書を用いた研修全体を通じた知識の確認 事後学修（90分）：採点結果から間違えた設問について調べまとめる	川口真実
成績評価の方法と基準	学修意欲の把握を行うものとしてコメント票（10%）、課題・レポート（40%）、演習への積極的な参加と態度（50%）により総合的に評価します。		
履修上の留意点	介護職員初任者研修の資格取得のための科目です。事前登録者以外は履修できません。資格取得に必要な学修時間が定められているため、欠席した場合は理由を問わず補講またはだいたいレポートを実施します。各単元の講師要件に適合したゲスト講師を招聘します。		
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）（2）（3）（4）と関連しています。特に知識・理解の修得は、基本的な介護を実践するために重要です。		
教科書	介護職員初任者研修テキスト1巻介護の仕事の基礎（第3版）中央法規、2020年 介護職員初任者研修テキスト2巻自立に向けた介護の実際（第2版）中央法規 2020年		
参考書・参考資料	随時提示・配布します		
学生との連絡方法	メール、AAAで連絡を取ります		
実務経験科目			